

わくわく中国文化



—中国の世界遺産⑧—

Illustration by [KOH_HSL](#)(instagram)

中国の世界遺産⑧

湖南省の略称は「湘」です。湖南省は中国の中部・揚子江の中流に位置します。面積は21.18万平方キロメートルです。東は江西省につながり、西は貴州省に隣接し、南は広東省、広西チワン族自治区につながり、北は湖北省、重慶市に接します。亜熱帯モンスーン気候に属し、四季がはっきりしています。省都は長沙市です。

湖南省には世界遺産が3つあります。世界自然遺産2か所と世界文化遺産1か所を有します。

武陵源自然風景区

武陵源自然風景区は湖南省張家界市に位置します。武陵源は260平方キロにわたって奇観を呈しています。砂岩（堆積岩の一種）が天を突く柱となり、尖塔となり、峰となり、ほとんど200メートルを超えます。それが谷を抉り、溪流をめぐらせ、飛瀑をほとぼしらせ、40を超える洞窟を穿ち、鍾乳石や石筍で覆われた洞窟も見られます。自然にできた2つの石橋を渡り、その上、絶滅危惧種の動植物も生息しており、植物の品種が豊富で約3000種の植物を有します。

この地質の多くは石英砂岩です。地形は数億年前の海底が地殻変動による隆起し、雨風の浸食によって形作られました。

1992年に張家界国立森林公園、索溪峪風景区、張家界天子山風景区、楊家界風景区の4つの地域からなる「武陵源自然風景区」は世界自然遺産に登録されました。

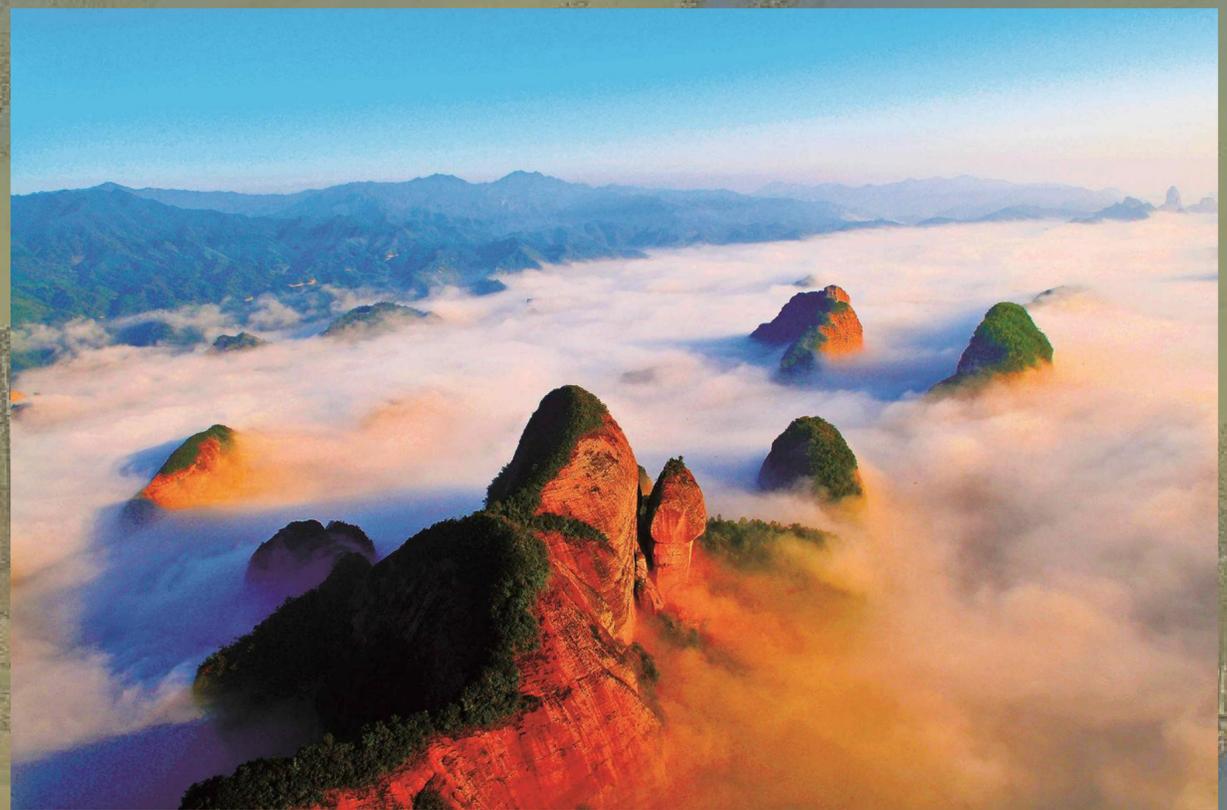


中国の世界遺産⑧

崀山（ろうざん）

湖南省新寧県県内に位置し、南嶺山脈の一部分に属します。面積は108平方キロメートルです。崀山は中国で有名な丹霞地形で、その特徴がもつともよく表れており、自然の丹霞地形博物館と呼ぶのにふさわしいです。奇岩怪石が連なる山々や美しい溪谷の景観として知られています。

2010年にほかの5か所の丹霞地形と共に「中国丹霞」として世界自然遺産に登録されました。



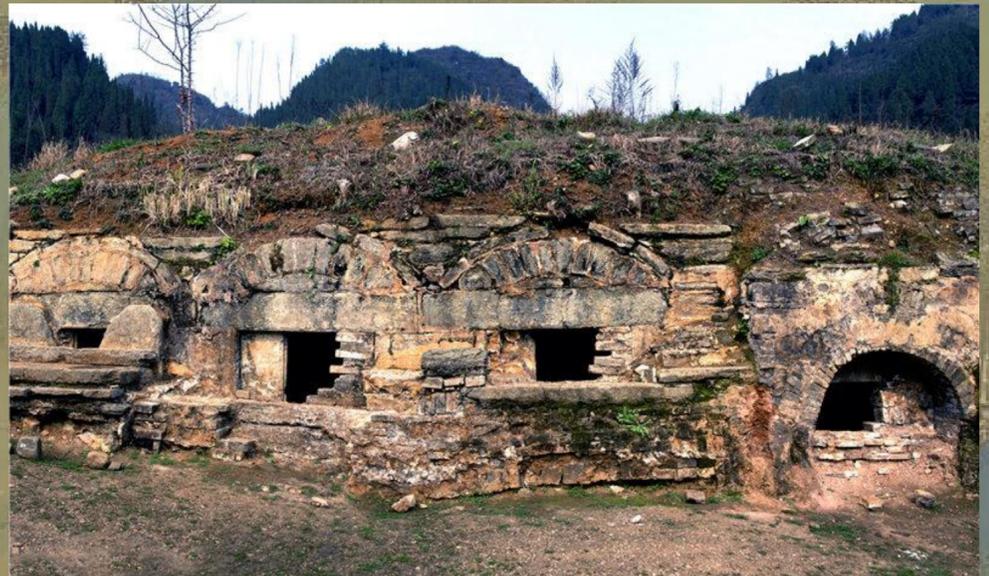
中国の世界遺産⑧

湖南省永順老司城遺跡

土司（どし）とは古代の中国封建王朝が諸民族の支配者たちに授けた官職で、特に中国中南部や南西部の少数民族を管理するために用いられた民族政策とのことです。南宋時代から清の時代に実施され、数百年の歴史があります。

湖南省永順老司城遺跡は湖南省湘西トゥチャ族ミャオ族自治州永順県に位置します。老司城遺跡は溪谷盆地にあり、山に囲まれ、地勢が険しいです。老司城遺跡は規模が大きく、中心エリアの面積が約25平方キロメートルで、老司城古城遺跡や祖師殿、土王祠、翼南堂、彭氏祖廟などの多くの歴史遺跡が残されています。中国土司遺産の代表例といえます。完全な状態で保存された遺跡は、中国古代の土司文化が多様な歴史文化を持つことや、トゥチャ族の歴史、政治、文化、建築技術などに対する研究において重大な価値を持っています。

2015年に世界文化遺産に登録されました。



湖南 HUNAN